トイレ便器等全体清掃

用　意　す　る　も　の

バケツ、雑巾（タオルでも可）、市販のトイレ用洗剤（中性と酸性）、ゴム手袋 ※必要に応じてお使いください 、スポンジタワシ、マイナスドライバー、不要になった歯ブラシ、 不要になった割り箸

温水洗浄便座を
取り外して清掃すれば、
隅のすみまでピカピカに！

お　掃　除　開　始

①

初めに、温水洗浄便座の洗浄ノズルを掃除します。

洗浄ノズルの出し方は、主に以下の3タイプです。
①手動で引っ張るタイプ、
②ノズル掃除ボタンが付いているタイプ、
③上記以外のタイプ

③は「止ボタン」を5秒以上押すとノズルがでてきます。
（5秒以上押してものノズルが出ない場合は取扱説明書をご確認ください。）

ノズルが出て来たら、中性洗剤をたっぷりかけ、歯ブラシでゴシゴシと洗います。（硬くこびり付いた汚れは、割り箸の端で削り落として下さい。）汚れが落ちたら水で洗い流して、元に戻します。自動で流すタイプもあります。（③は「止」を押します。）

★ポイント！

ノズルの元の方も汚れていますので、お忘れなく。歯ブラシでゴシゴシしますと、引いた時手前に水分が飛び散りますのでご注意下さい。手や雑巾でカバーしながらやるといいです。

②

電源を切った後、コンセントを抜きます。その後、マイナスドライバーで給水管のバルブを閉めます。バルブを回した回数を覚えておき、元に戻す際は同じ回数たけ回すようにします。

③

便座カバー（フタ）を取り外します。

自動開閉装置が付いているものは、充分注意して下さい。
（メーカーによって取り外し方が違いますので、取扱い説明書に従って外してください。）

④

脱臭フィルターがあるタイプは、フィルターを取り外して洗浄してください。（フィルターは中性洗剤を薄めた液に、少しの間浸しておくと汚れが取れやすくなります。）

⑤

温水洗浄便座を取り外します。

多くの機種では本体の右側にストッパーがありますので、押すか引くかしながら、温水洗浄便座を手前にスライドすると外れます。
なお念のため雑巾を床に敷いておくと良いでしょう。
（メーカーによって取り外し方が違いますので、取扱説明書の指示に従って外してください）

注意！温水洗浄便座に繋がっている給水管の取り付け元が緩みますと水漏れの原因になりますので注意して下さい。

⑥

温水洗浄便座本体の汚れを落とします。

温水洗浄便座はプラスチック製なので、キズがつかないよう中性洗剤で汚れを浮かせてから、スポンジの柔らかい方で拭ります。便座カバーのフタ取付部等の隅は、割り箸に雑巾をかませて押し込むように拭きます。仕上げに固く絞った雑巾で拭き上げます。

⑦

便器本体を清掃します。

温水洗浄便座を外した便器は、尿や埃の固まりで汚れています。便器のきれいな部分から中性洗剤をスプレーし、スポンジタワシの硬い方でかるく擦った後、硬く絞った雑巾で拭いて下さい。

★ポイント！

普段は見えづらい便器の裏側もチェック！意外と汚れが蓄積しています。
黄色い汚れは尿の蓄積です。酸性洗剤を使って、ゴシゴシ落としてください。
★注意！「酸性洗剤」と「塩素系洗剤」（漂白剤等）は絶対に一緒に使わないでください。

⑧

温水洗浄便座本体・カバー・フィルターを取り付けます。

先ほどと逆の手順で外した物を取り付けます。給水管の取付元が緩んでいないかを確認してから、給水管のバルブを回した分だけ戻します。
最後に、コンセントさし、電源を入れます。初期状態に戻りますので再度設定が必要になります。

⑨

手洗いの清掃をします。

陶器製タンクが付いている手洗いなどでは受け皿部分に丸くて黒い汚れが付いている場合がありますが、これは水の中のカルキが固まって出来たものです。酸性洗剤をつけて、スポンジタワシの硬い方で、擦ると効果的です。
（タンクがプラスチック等の場合は、キズが付く場合がありますので、注意してください。）

お　掃　除　終　了